

平成29年度模擬授業(出前授業)科目一覧

学部名 : 人文社会科学部

No.	授業科目名	講師名	職名	学科等名	授業概要	担当可能曜日 ※ (長期休業期間を除く)
1	L I N E・ツイッターは僕らの感性をどう変えたのか?	村上 信夫	教授	現代社会学科 メディア文化メジャー	文字、印刷技術、ラジオ、テレビ、インターネット、SNSとメディアのテクノロジーの変化は、コミュニケーションを変え、人々の感性も変えてきました。特に、近年の急激なSNSの普及により、<知らないうちに>僕らは大きく変わっています。この講座ではそんな視点から、簡単なワークショップも交え、自分たちのコミュニケーションについて考えます。	前学期：月曜 水曜午後 後学期：月曜
2	マスコミの歴史	高野 光平	教授	現代社会学科 メディア文化メジャー	新聞・雑誌の古い現物や、テレビの古い映像を使って、近代日本のマスコミの歴史を考える方法を解説します。	前学期：木・金以外 後学期：木・金以外
3	他者と出会い自分を知る心理学	伊藤 哲司	教授	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	「心」はどこにあるでしょう? 「心」はいつ生まれるのでしょうか? 他者に「心」があることを、どうして知ることができるのでしょうか? この講義では、そんな「心」についての理解を深めるヒントを提供します。とくに自分の「心」について知るために、内に向かうのではなく、むしろ外へ向かうこと、そして自分とは異なる他者と出会うことの必要性を説きます。	前学期：火(午後)・木以外 後学期：木(午後) 不可
4	非暴力で世界に関わる方法	伊藤 哲司	教授	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	ウルトラマンははたして世界を救えるのか? 「正義」とはいったい何なのか? 今もって戦火の止まない世界状況があるなかで、どうすれば暴力を使わないでこの世界と関わり生きていけるのか? 非暴力を貫いたガンジーやキング牧師など偉大なる先人たちに学びつつ、困難は多々あるけれども、非暴力の実践は、実は身近なところからできることを提起します。私たちが21世紀を生きていく道しるべについて考えます。	前学期：火(午後)・木以外 後学期：木(午後) 不可
5	韓国語・韓国文化入門	糟谷 政和	准教授	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	日本と韓国の交流にはむずかしい問題もありますが、K A R Aや少女時代の歌は親しみやすいものです。また韓国映画やドラマも日本のものとよく似ていて、文化的な近さを感じます。まずは、韓国語と韓国文化に触れてみましょう。	前学期：不可 後学期：金
6	異文化とはなんだろう	横溝 環	准教授	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	みなさんが「異文化」ときいて思い浮かべるイメージはどのようなものでしょうか。この授業では、頭と身体を使いながら、自文化および異文化について、みんなで語り、考えていきたいと思えます。みなさんの人や物を見る目が変わるきっかけになれば嬉しいです。	前学期：月 後学期：月
7	政治学入門- 若者が選挙に行かないとどのような不利益が生じるのか?	馬渡 剛	教授	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	選挙権が18歳以上に引き下げられる一方で、若者の投票率の低さが課題となっています。若者が投票に行かないとどのような不利益が生じるのか、そもそもなぜ投票率が低くなるのか、無党派層が増えた理由などについて解説します。	前学期：水(午後)、木(午後) 後学期：水(午後)、木(午後)

8	やっかいな放射線と向き合う	蓮井誠一郎	教授	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	東電福島第一原発から漏れた放射能についての基礎知識と、観測データ、国際基準のできるだけ正確な理解を目指します。その上で、初心者でも自分たちの安全のための議論ができること、意見が異なる人同士を相互に理解できることを目指す講座です。文系学生でも対応できる内容です。	前学期：木（午前）、金（午後） 後学期：月（午前）、木（午前）、金（午後）
9	平和学入門	蓮井誠一郎	教授	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	平和とは何でしょうか？どんな状態を平和というのでしょうか？平和学とはどんな学問で、何を指して、どんな方法で研究するのでしょうか？知識のためだけでない生きた科学としての平和学の概要を説明します。	前学期：木（午前）、金（午後） 後学期：月（午前）、木（午前）、金（午後）
10	不発弾という戦争の癒えない傷	蓮井誠一郎	教授	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	世界各地の紛争地でも、地雷やクラスター爆弾などの不発弾が問題になっていますが、実は今でも日本各地では第二次世界大戦中の不発弾が発見されます。戦争が環境に与える傷の中で、最もやっかいなもののひとつである不発弾問題を、地元、沖縄、そしてラオスやヨーロッパにまで広げながら、戦争の知られざる一面を明らかにしていきます。	前学期：木（午前）、金（午後） 後学期：月（午前）、木（午前）、金（午後）
11	新しい戦争と平和の時代	蓮井誠一郎	教授	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	「イスラム国」のような、イスラム過激派組織は何を目指しているのでしょうか。それが国際社会に与える影響とは何でしょうか。彼らが戦術のひとつとするテロリズムはどんなもので、なぜ頻発し、どう対応できるのでしょうか。共に考えます。	前学期：木（午前）、金（午後） 後学期：月（午前）、木（午前）、金（午後）
12	日本の外国人	木村昌孝	教授	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	日本にはどのような外国人がいるのでしょうか。日本に長期滞在する外国人の国籍別・在留資格別の人口変化などを手掛かりに見ていきます。また、日本が人の送り出し国であった戦前も振り返ります。その作業を通して、日本の国際化について考えてみたいと思います。	前学期：火（午後）、木（午後） 後学期：火（午後）、木（午後）
13	地域研究と地域概念（東南アジアの場合）	木村昌孝	教授	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	地域研究を行う場合、対象となる地域の存在が前提となるわけですが、単なる物理的空間ではなく、意味のあるまとまりとして地域をとらえることは、意外と難しいことです。また、特定地域の名称とそれが示す地理的範囲が昔から普遍かつ所与のものとして存在してきた訳ではありません。この講義では、東南アジア地域概念の歴史を振り返り、地域の意味を考えてみたいと思います。	前学期：火（午後）、木（午後） 後学期：火（午後）、木（午後）
14	ディズニーランドを地理学で分析する	小原 規宏	准教授	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	観光は21世紀の重要な経済活動としてますます重視されるようになっていきます。本講義では、わが国を代表する観光地であるディズニーランドの人気の秘密を地理学という学問を通じてアカデミックに分析します。さらに本講義では、近年、テーマパークとは真逆の戦略で人気を集めるようになっているエコツーリズムという観光スタイルについても触れ、今後の観光の展望についてまとめます。	前学期：金（午後）以外。 ただし、水曜（午後）は要相談 後学期：火（午後）以外
15	「社会調査法」入門一歩前 — データから見る「若者」を中心に	寺地 幹人	講師	現代社会学科 国際・地域共創メジャー	大学の学びでは、自ら調べて、データを提示し、論証することが特に求められますが、社会現象の調査やデータ分析のトレーニングをする科目が「社会調査法」です。その門をくぐる前に、皆さんを含めた「若者」を中心的な素材とし、社会の捉え方やデータの扱いについて、一緒に考えながら学んでみましょう。	前学期：金 後学期：木、金 ※日によっては上記曜日でも対応できない場合があります。

16	家族法入門	高橋 大輔	准教授	法律経済学科 法学メジャー	この授業では、夫婦や親子の話などを通して、家族生活に法律がどのように関係しているのかについて説明します。それによって、法学を大学で勉強する意義についても話をしたいと思います。	前学期：火、木可能、水は要相談 後学期：火、木可能、水は要相談 ※家族問題を扱うため、配慮が必要な場合には事前にご相談下さい。
17	キャリアデザイン・ライフデザイン	清山 玲	教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	将来の仕事と人生のデザインの仕方を学びます。働くことから学ぶことの必要性や意味を考えます。	前学期：木、金以外 後学期：木・金以外
18	格差社会日本の断面－働き方と処遇格差を考える－	清山 玲	教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	今日、雇用形態が多様化し、働き方が多様化しています。そこで広がる働き方の多様化と処遇格差について講義します。	前学期：木、金以外 後学期：木・金以外
19	ワーク・ライフ・バランスで社会が変わる	清山 玲	教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	少子化や男女共同参画を背景に、ワーク・ライフ・バランスが社会的に推進されています。ワーク・ライフ・バランス社会の必要性、意義について講義した上で先進的な企業事例についてご紹介します。	前学期：木、金以外 後学期：木・金以外
20	日本女性の就労パターンと女子学生への応援メッセージ	清山 玲	教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	今日、日本女性の働き方のパターンを紹介したうえで、女性が働く意義やキャリア形成について講義します。女性活躍推進法や先進企業の人事労務管理などについても紹介します。	前学期：木、金以外 後学期：木・金以外
21	会社って何？－しくみとそのチェック－	高井 美智明	教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	0. (導入) 社会科学とは何を対象とするのか1.会社の要件(営利追求・社団・法人)2.会社の統治(チェック)のしくみ3.会社は誰のものか4.会社の社会的責任(CSR)とは何か5.まとめ	前学期：木以外 後学期：木以外
22	身近な経済学	田中 泉	教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	日頃のショッピングで目にする企業の価格戦略を経済学的に解明します！なぜ、チラシの割引券は切り取りにくいのか？なぜ、男性割引は少ないのか？なぜ、セット購入はお得なのか？「他店よりも割引します」という広告の裏の裏？	前学期：月、火、金以外 後学期：月、火、金以外
23	財政学	兪 和	教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	国、地方の公共部門の役割とその運営にかかわる制度や仕組みを学ぶ。	前学期：月 後学期：月
24	「もはや戦後ではない」とは？	宮崎 忠恒	准教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	原資料に当たること、経済史を含めた社会科学にとっての重要性を学ぶために、高度成長期のスタート時に政策立案の最前線にいた官僚が用いた有名なフレーズに込められた本当の意味を探る。	前学期：火以外 後学期：月以外
25	世の中のつながりの経済学	石垣 建志	准教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	1. イベントの「経済効果」？ 2. あちらが売ればこちらが売れない 3. 地域振興券の実験4. Win-winの原理 5. うまく行くとはいらない！	前学期：木、金以外 後学期：木、金以外
26	日本企業の競争力	牧 良明	准教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	日本の企業は強いのか？弱いのか？国際競争の中で、この問いは重要であると同時に難しいものとなっています。この問いに対して、日本を代表する産業である自動車産業を中心に考えてみたいと思います。	前学期：月、水(午後)、木(午後) 後学期：月、水、木(午後)、金(午前)
27	企業経営から見る自然環境問題	牧 良明	准教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	自然環境問題は、まさに「待ったなし」の大問題です。では、なぜ、人類は自然環境問題を抱えてしまったのか、どのように解決しようとしているのか、そもそも「自然環境問題」とは何か？これらのことを考えるために重要なのが、企業経営の視点です。企業はどのように自然環境問題とかわかっているのか、考えてみたいと思います。	前学期：月、水(午後)、木(午後) 後学期：月、水、木(午後)、金(午前)

28	自然環境問題と地域社会	牧 良明	准教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	地域社会をいかに維持・発展させていくか、日本社会の大切な課題です。その地域づくりの一つのコンセプトとして注目されているのが、「自然環境」です。自然環境にやさしい地域社会を構築し、それによって、人や企業やお金を地域社会に呼び込めないだろうか。日本や中国での「エコタウン」形成を紹介しながら、地域社会と自然環境との関係性に関して考えてみたいと思います。	前学期：月、水（午後）、木（午後） 後学期：月、水、木（午後）、金（午前）
29	日本型「顧客満足」を考える サービス・マーケティングの新たな展開	今村一真	准教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	お店に行くと「いらっしゃいませ」が当たり前？「こんにちは」になるとどんな気分になる？顧客との接点を大切にする企業は、適切な根拠に基づき行動しています。さらに、「顧客満足」の追究にも特徴があり、日本では理論を超えて独自の進化を遂げています。こうしたサービス・マーケティング研究の最前線を、事例を交えながら解り易くお話しします。さりげないコミュニケーションにも活かせるエピソード満載の講義を、ぜひ楽しみにしてください。	前学期：月・水 後学期：月・水（午前）
30	マーケティングの魅力	今村一真	准教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	今ではすっかり定着したあの商品も、登場時にはこんなエピソードがあって…。 従来のマーケティング活動は、このエピソードに凝縮されることが多いのですが、これを学ぶだけでは現代を語れません。さて、今日のマーケティングとはどのようなものなのでしょうか？豊富な事例を基に、皆さんにマーケティングの魅力を感じていただきたいと思っています。	前学期：月・水 後学期：月・水（午前）
31	990円のジーンズがつくられるのはなぜ？－アジアの中のわたしたち	長田華子	准教授	法律経済学科 経済学・経営学メジャー	わたしたちの身の回りには1000円以下の洋服があふれています。しかし、なぜこんなにも安いのでしょうか。990円のジーンズを事例に、どこの国の誰によって、どのようにつくられたのか、講義します。価格の安さの裏側には何があるのか、一緒に考えましょう。	前学期：水・木以外 後学期：水・木以外
32	幸福論	渡邊 邦夫	教授	人間文化学科 文芸・思想メジャー	幸福について考えることの意味を古代ギリシア哲学の考え方をもとに説明して、自由や倫理性や人間の本質について考え始める方法を紹介します。	前学期：月（午前）、木（午前）、金 後学期：月（午前）、金
33	物語の秘密－孫悟空とサザエさん	西野 由希子	教授	人間文化学科 文芸・思想メジャー	アニメ「サザエさん」（フジテレビ）では、サザエさんはいつでもあわてもの、タラちゃんもカツオも年をとりません。文学ではそれを「章回小説」と呼び、時間に沿って主人公が成長する「教養小説」と区別します。本授業では、「西遊記」「ハリー・ポッター」「ナルニア国物語」・・・などさまざまな小説をとりあげて、物語（小説）のスタイルと語りの構造について解説し、物語の秘密を解読していきます。	前学期：月～金 後学期：月～金
34	「あんこう鍋」を詩に詠う－香港の作家による「食」の詩と小説	西野 由希子	教授	人間文化学科 文芸・思想メジャー	現代香港を代表する作家・也斯は、世界と香港の「食」をテーマに、詩や小説を書きました。水戸を訪れた彼が書いた「あんこう鍋」という詩を、いっしょに読んでみましょう。この詩に隠された謎を読み解きながら、作者の思い、現代の文学や芸術のおもしろさ、そして、香港の文化の魅力を知って下さい。	前学期：月～金 後学期：月～金

35	謎と秘密、世界の文学	西野 由希子	教授	人間文化学科 文芸・思想メジャー	中国古典文学の作家は、男性ばかり。出世できなかつたり、左遷されたり、試験に落第し続けたり。でも、挫折や不遇の中で書かれた作品だからこそ、読む人の心を打ち、つらいときに励ましを与えてくれる力を持った作品が生み出されたのでしょうか。この授業では中国文学を含め、世界の名作や古典作品の謎や秘密を紹介しながら、文学の魅力をお話しします。	前学期：月～金 後学期：月～金
36	古典文学としての「君が代」	堀口 育男	教授	人間文化学科 文芸・思想メジャー	現在、わが国の国歌となっている「君が代」は、本来、和歌であり、その起源は平安時代の『古今和歌集』にまで溯ります。以来、「賀の歌」「祝の歌」として様々に変奏されつつ歌われ、御伽草子や軍記物語などにも取り入れられています。本授業では、主に『古今和歌集』との関わりから和歌としての「君が代」を講義します。	前学期：火・金以外 後学期：月・火以外
37	フランス文芸史	神田 大吾	准教授	人間文化学科 文芸・思想メジャー	大学2年次生向け専門科目「フランス文芸史」のダイジェスト。12世紀半ば、日本では平安時代だったという遠い昔に書かれた作品が、フランスのみならず、ヨーロッパの各地で読み続けられ、映画やオペラにリメイクされ続けられているのはなぜでしょう？ 時代背景（中世）を紹介しながら、作品（トリスタン・イゾー物語）の魅力を講義します。	前学期：木曜の午前中。 （午後も対応できる場合もある。） 後学期：前学期と同じ。
38	茨城の方言を知る・方言で知る茨城	杉本 妙子	教授	人間文化学科 文芸・思想メジャー	「方言っておもしろい」と思ったことはありませんか。方言はそれぞれの地域の暮らしの中で育まれてきたことばです。ですから、方言をとおしてその地域の暮らしや人々の物事の捉え方を知ることでもあります。この講義では、まず、茨城方言の特徴や位置づけを把握したうえで、いくつかの方言のことばや表現を取り上げて、地域の暮らしや他地域との関係などを考えてみたいと思います。また、方言のもつ働きについても触れたいと思います。	前学期：火、木、金以外 （金に対応できる場合もある） 後学期：火、木、金以外
39	世界史の中のイスラーム	山田 桂子	教授	人間文化学科 歴史・考古学メジャー	2015年「イスラーム国」による日本人捕虜殺害事件は私たちに大きな衝撃を与えました。イスラーム教はニュースの中では残酷さやテロのイメージがありますが、そもそも私たちと同じアジアの宗教であり、こんにち世界中で仏教よりもはるかに多くの人々に信仰されています。1400年にわたって世界へ拡大しつづけ、多くの人々に受け入れられて来たのには、きっと何か良いところや優れたところがあったからに違いありません。本講座では、国際人が知っておくべきイスラーム歴史文化の基礎を学びます。	前学期：水、木 後学期：水
40	ヨーロッパとは「美しい」場所なのか	森下 嘉之	准教授	人間文化学科 歴史・考古学メジャー	ヨーロッパの真ん中に「チェコ」という国があります。その首都は「プラハ」というところです。こう聞くとどこか遠い世界の話に聞こえるかもしれませんが、実はこの街、日本のCMや映画、ドラマなどで堂々と登場しています。その理由は、日本人が思い描く「美しいヨーロッパ」のイメージと合致しているからでしょう。しかし私たちはヨーロッパを単に「観光客に人気の美しい場所」として思い描くだけでよいのでしょうか。暗記科目ではないもう一つの「世界史」をのぞいてみませんか。	前学期：月、金 後学期：火・木以外

41	煙突にのぼった男——日本近現代史への招待	佐々木 啓	准教授	人間文化学科 歴史・考古学メジャー	日本中が不況の底に沈みこみ、失業者が街にあふれた1930年11月のある早朝。ひとりの男が固い決意を胸に、高さ約40メートルの煙突をよじ登っていった。彼の狙いは何なのか…。その運命やいかに…。実際に起こったユーモラスな出来事から、戦前の日本社会の実像に接近していきます。	前学期：水 後学期：水、木、金
42	心理学への招待 —感情とストレスの心理学—	宮崎 章夫	教授	人間文化学科 心理・人間科学メジャー	心理学とは、どのような学問なのでしょうか。人を対象とする他の学問とは、どこが違うのでしょうか。私たちがふだん経験する喜怒哀楽やストレスの問題を取りあげ、心理学という学問の特徴を説明します。感情やストレスについて知ることは、自分のことを冷静に眺めたり、他者の気持ちに近づこうとするときにも、きっと役に立つことでしょう。—方向的な講義ではなく、簡単な作業を交えたり、他人の意見に耳を傾けながら、心理学への理解を深めてみましょう。	前学期：水、木 後学期：金
43	心理学への初めの一歩 —自他関係の成り立ち—	松本光太郎	准教授	人間文化学科 心理・人間科学メジャー	「君たちがいて、僕がいる」というチャーリー浜のギャグがありました。心の成り立ちを明らかにする際の基軸は、「私」と「あなた」の自他関係にあります。思春期は自他関係にとりわけ敏感です。本授業では、自他関係にまつわる日常行動を各自に振り返ってもらった後に、その行動を通して自他関係の構図を解説します。	前学期：月・火以外 後学期：火以外
44	日々の暮らしを「ななめ」から眺めてみる—身近な生活文化からの民俗学入門—	塚原 伸治	准教授	人間文化学科 心理・人間科学メジャー	グローバル化にともない、異なる文化的背景を持った人たちと接する機会はますます増えてきています。このような時代だからこそ、自分が拠って立つ文化について正面から、あるいは「ななめ」から捉えてみるのが重要だと考えています。この講義では、お正月、七五三、結婚式、お葬式など、私たちの一年や一生を彩る様々な儀礼にかんする民俗学の成果を通して、私たちの文化や伝統について一緒に考えてみましょう。	前学期：火・金 後学期：月・火
45	「言語を科学する」	藤井 文男	教授	人文コミュニケーション学科 言語コミュニケーションコース	我々が日常、何気なく使っている日本語や外国語ながら比較的親しみのある英語にしても、改めて考えると「アレっ、何でそう言うのだろうか?」「何故この言い方はダメなの?」と不思議に思う現象は極めて多い。この授業では中学一年生でも知っているような英語表現の不思議を解く過程でも目から鱗が落ちるようなスリリングな体験ができることを知り、英語の持つ特質に触れることを通して「学問研究」の本質に迫る時間としたい。	前学期：月～金 後学期：月～金
46	「科学するところ」	藤井 文男	教授	人文コミュニケーション学科 言語コミュニケーションコース	地球上で行なわれる言語は何千種もあり、母語により受容する“世界”まで異なるとも言われるが、こと『学問』や『科学』といった概念だけは表層の違いを越え、多くの言語が対象を驚くほど似通った発想で捉える。語彙ほど多様性の高い要素はない中、何故こうした概念は“ユニバーサル”なのか? この授業では、古今東西の諸言語から例を拾い、人間言語の持つ普遍性と相対性の対比を通し、人間にとって『科学する』ことの意義を探る。	前学期：月～金 後学期：月～金